

様式 2

安曇野市交通安全推進協議会 会議概要

- 1 審議会名 令和3年度 第2回安曇野市交通安全推進協議会
- 2 日 時 令和3年10月14日（木）午前10時から午前11時まで
- 3 会 場 安曇野市役所 本庁舎4階 大会議室
- 4 出席者 中澤委員、佐々木委員、青山委員、松島委員、鬼頭委員、藤松委員、藤岡委員、松井委員、宮坂委員、山口委員、小出委員、青柳委員、渡辺委員、太田委員、荻窪委員、土肥委員、山田委員、矢口委員、坪田委員、平林委員
欠席者 中村委員、松下委員、三井委員、有賀委員、児玉委員、手塚委員
- 5 市側出席者 丸山長寿社会課長、藤原監理課長、麻田建設課長、沖学校教育課長、中村学校教育係長、高橋地域づくり課長、田村生活安全係長、石川主事
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 1人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 令和3年10月15日

協 議 事 項 等

I 会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ（協議会長）
- 3 協議事項（進行：協議会長）
第4次安曇野市交通安全計画（案）について
- 4 閉 会

II 会議概要

協議事項（進行：協議会長）

- ・素案に対する意見について

第4次計画素案に対していただいた意見を共有し、計画に反映するかどうかを検討していく。前回の会議で意見書が提出されているので、これについての回答や更なる意見をいただきたい。

【鬼頭委員より意見】

計画案7ページの交通安全計画における目標で、年間の交通事故死者数2人以下となっているが、令和2年の死者数が2人であるなら、目標は0にすべきではないか。

（関連する意見なし）

【事務局 地域づくり課より説明】

素案にある目標値は、令和2年4月1日時点の県人口に対する市人口の比率を県目標値に掛けた数値をもとにしたもの。しかし、これまで単年度計画において死者0を目指してきていることや、すでに死者2人以下を達成している年もいくつかあることから、鬼頭委員のご意見のとおり、目標を死者0と変更することは可能。

（反対意見等なし）

10年ほど前から安曇野市では死亡事故が多発した時期があり、死者が9名、1名、7名、5名、4名とのこぎり状態であった。ここ2、3年で減少してきているが、平均をみると4名を超えてしまう。そのため目標を2名としていたが、鬼頭委員から有意義な発言をいただき、事務局と相談した結果、目標は高く設定したほうが良いのではないかと思う。そこで、本協議会として

は、交通事故死者数の目標を0としたいが、異議はないか。

(異議なし)

事務局で計画(案)の修正をお願いしたい。

【松井委員より意見】

24ページの第2節 交通安全思想普及徹底 (1) 幼児に対する交通安全教育について。

有明あおぞら認定こども園では、朝夕の送迎の時間に駐車場で子どもが飛び出してしまう、送迎の車に轢かれそうになることが、年に何件かある。新潟県三条市でも6月に3歳の子どもが保護者の車に轢かれ亡くなる事故が発生している。

家庭にて、教えていかななくてはならないことは承知しているが、どのように子どもたちに教えていけばよいか、保護者の中で疑問がある。子どもたちに安全に生活してもらうために、交通安全教室で保護者の方々へ伝えていく必要がある。コロナ禍で交通安全教室に保護者が参加することが難しければ、資料の配布等でもいいと思う。保護者の皆様にどのように伝えていけばよいか意見を聞きたい。

【鬼頭委員より意見】

同じ保護者として共感できる意見。幼稚園でも危ない場面が多くある。幼稚園では、PTAで見守り活動を行って事故防止に努めている現状。先日チャイルドシートの啓発活動をしていただいたが、非常にありがたかった。認定こども園は勤めている保護者も多く周知が難しいと思うが、土曜日に行うなどシステムを考えれば親子への交通安全教育は可能だと思う。

職員数が減っている。少ない人数の中で散歩をするのが先生方の負担になっており、大津の事故もあって、子どもたちが自由に散歩できない。子どもたちの安全を考えて職員数の増加を要望したい。

【事務局 地域づくり課より説明】

交通安全計画は市の交通安全施策の大綱であり、今後5年間の方向性を示したもの。一方、交通安全運動推進計画とは、この5ヶ年の交通安全計画に基づき、単年度ごとの具体的な施策を盛り込んで計画・検証するものである。

この意見は、内容が具体的のため、5ヶ年計画ではなく、単年度計画で検討したい。

(反対意見等なし)

松井委員の意見については、単年度計画に反映するという事で、異議はないか。

(異議なし)

単年度の計画の策定時にはご協力をお願いしたい。

【三井委員より意見(協議会長代読)】

自転車通学をする子どもを持つ親として、通学中、自転車がもう少し安全にできるよう、もっと保護者や子ども目線での取り組みも増やして頂きたい。

危険個所の届け出についても、一般の保護者には周知しきれておらず、役員だけでなく、実際に利用している子どもやその保護者にもわかるようにしてほしい。

安曇野市PTA連合会としても学校や保護者、子どもへの周知等、協力できる点があればしていく。

(関連する意見なし)

【事務局 地域づくり課より説明】

自転車の安全な利用については、第4次計画で方向性を示す。

家庭や学校など、主体別・関係団体等で行っていただきたい具体的な施策は単年度計画で反映したい。

【事務局 学校教育課より説明】

周知の方法として、毎年12月ごろ、各学校長・PTA会長あてに、通学路危険個所要望の取りまとめと区長への提出について、依頼文書を出している。この時に、保護者や子どもたちへの周知の協力を明記する。

保護者だけでなく市民からの要望提出も想定されるので、ホームページなどを活用して通学路の危険個所の届け出の流れをわかりやすくする。

危険個所が的確に把握できるよう努めていく。

(反対意見等なし)

三井委員の意見について、通学時の自転車の安全利用については単年度の計画で計画・検証し、通学路危険個所改善要望については、市から小中学校へ依頼する際に、保護者へ周知することを含めて検討するという事で異議はないか。

(異議なし)

積極的に意見をいただき感謝申し上げます。

・計画(案)について

【事務局 地域づくり課より説明】

第3次計画からの変更点を赤字にした素案を前回会議で配付したが、(案)については黒字としている。前回配付した素案からの変更点として、11ページ第1章第4節3自転車の安全利用の推進について、自転車事故の現状を追加した。

今回の会議で目標数値を変更することになったので、2ページの施策体系と7ページを修正する。また、誤字脱字等については適宜修正する。

今後は修正した計画案を議会への説明、パブリックコメントへと進めていく予定のため、この計画案について、委員の皆様から意見をいただきたい。

第4次安曇野市交通安全計画(案)について、このとおりでよいか。

(異議なし)

事務局で交通事故死者数の修正をしたものを計画案とする。

第4次計画は、今後も関係機関と調整の上、議会への説明、パブリックコメントへと進めていくので、ご理解とご協力をお願いしたい。

以上